

平成29年度

大網白里市決算審査意見書

公 営 企 業 会 計

(ガス事業・病院事業)

大網白里市監査委員

監 第 209 号  
平成30年8月9日

大網白里市長 金坂 昌典 様

大網白里市監査委員 大島 有紀子  
同 花澤 房義

平成29年度大網白里市公営企業会計決算審査の意見について  
地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審議に付された平成29年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出する。

## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

### 【ガス事業会計】

1	経営状況について	2
(1)	経営成績について	2
2	審査状況について	2
(1)	概況	2
(2)	収益的収入及び支出	3
(3)	資本的収入及び支出	4
(4)	損益計算書比較表	5
(5)	貸借対照表比較表	6
	むすび	7

### 【病院事業会計】

1	経営状況について	8
(1)	経営成績について	8
2	審査状況について	8
(1)	概況	8
(2)	収益的収入及び支出	9
(3)	資本的収入及び支出	10
(4)	損益計算書比較表	11
(5)	貸借対照表比較表	12
	むすび	13

※ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

※ 負数は「△」で表示した。

## 平成29年度大網白里市公営企業会計決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成29年度大網白里市ガス事業会計決算  
平成29年度大網白里市病院事業会計決算

### 第2 審査の期間

平成30年6月30日から平成30年7月27日まで

### 第3 審査の方法

決算書、その他関係諸表等の確認と予算の執行及び事業の経営、管理が適性かつ有効に運営されているか検証するため、関係諸帳簿、証書類、資料等について、確認を行い審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された平成29年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算諸表は、地方公営企業法、同施行規則の規定に基づいて作成され、財政状況及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

【ガス事業会計】

1 経営状況について

(1) 経営成績について

当年度ガス事業会計においては総収益734,578,046円に対し、総費用701,027,501円で、純利益は33,550,545円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると次表のとおりである。

(単位：円)

年度 区分	27年度	28年度	29年度
総収益	676,373,189	693,138,423	734,578,046
総費用	664,278,089	680,493,422	701,027,501
純利益	12,095,100	12,645,001	33,550,545

2 審査状況について

(1) 概況

ガス事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

年度 区分	27年度	28年度	前年度比 (%)	29年度	前年度比 (%)
年度末供給戸数 (戸)	11,394	11,552	101.4	11,756	101.8
供給ガス量 (m <sup>3</sup> )	7,223,182	7,278,712	100.8	7,652,171	105.1
ガス購入量 (m <sup>3</sup> )	7,012,776	7,118,104	101.5	7,264,982	102.1
1ヶ月平均供給ガス量 (m <sup>3</sup> )	601,932	606,559	100.8	637,681	105.1

事業内容を見ると、年度末供給戸数は11,756戸で、前年度より204戸の増加となっている。

供給ガス量は7,652,171m<sup>3</sup>で、前年度と比較して373,459m<sup>3</sup>の増となっており、1ヶ月平均供給ガス量は637,681m<sup>3</sup>となっている。

勘定外ガスについては、△387,547m<sup>3</sup>である。

## (2) 収益的収入及び支出

## 収入

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
ガス事業収益	783,037,000	759,684,000	789,051,934	744,096,200	6,014,934	△ 15,587,800		
製品売上	665,776,000	653,265,000	668,889,791	639,001,094	3,113,791	△ 14,263,906		
営業雑収益	63,172,000	54,395,000	66,928,774	49,152,785	3,756,774	△ 5,242,215		
営業外収益	54,086,000	52,024,000	53,233,369	55,942,321	△ 852,631	3,918,321		
特別利益	3,000	0	0	0	△ 3,000	0		

## 支出

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
ガス事業費用	774,018,000	750,391,000	747,184,021	727,633,206	26,833,979	22,757,794		
売上原価	348,772,000	342,863,000	332,297,803	325,001,578	16,474,197	17,861,422		
供給販売費及び一般管理費	353,280,000	350,866,000	343,702,272	346,115,353	9,577,728	4,750,647		
営業雑費用	60,049,000	44,290,000	59,778,467	44,145,448	270,533	144,552		
営業外費用	11,412,000	12,372,000	11,405,479	12,370,827	6,521	1,173		
特別損失	5,000	0	0	0	5,000	0		
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0		

収益的収入の主なものは製品売上（ガス売上）で、前年度決算額639,001,094円に対し当年度決算額668,889,791円で29,888,697円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税49,489,255円が含まれているので実質決算額は619,400,536円である。

営業雑収益は、前年度決算額49,152,785円に対し当年度決算額66,928,774円で、17,775,989円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税4,957,519円が含まれているので、実質決算額は61,971,255円（うち受注工事収益は61,375,897円）である。

営業外収益は、前年度決算額55,942,321円に対し当年度決算額53,233,369円で、2,708,952円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税27,114円が含まれているので、実質決算額は53,206,255円（うち雑収益は1,082,278円）である。

特別利益は、前年同様、当年度決算額は0円である。

収益的支出の主なものは売上原価、供給販売費及び一般管理費で、前年度決算額671,116,931円に対し当年度決算額676,000,075円で、4,883,144円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税32,116,082円が含まれているので実質決算額は643,883,993円である。

営業雑費用は、前年度決算額44,145,448円に対し当年度決算額59,778,467円で、15,633,019円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税4,080,902円が含まれているので、実質決算額は55,697,565円である。

営業外費用は、前年度決算額12,370,827円に対し当年度決算額11,405,479円で、965,348円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は9,959,536円が含まれているので、実質決算額は1,445,943円である。

特別損失は、前年同様、当年度決算額0円である。

(3) 資本的収入及び支出  
収入

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
資本的収入	17,691,000	58,863,000	5,352,020	50,364,310	△ 12,338,980	△ 8,498,690		
企業債	1,000	0	0	0	△ 1,000	0		
出資金	1,000	0	0	0	△ 1,000	0		
他会計からの長期借入金	1,000	0	0	0	△ 1,000	0		
固定資産売却代金	1,000	0	0	0	△ 1,000	0		
負担金	17,687,000	58,863,000	5,352,020	50,364,310	△ 12,334,980	△ 8,498,690		

支出

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	29年度	28年度	29年度	28年度				
資本的支出	186,525,000	181,286,000	146,192,801	130,506,070	29,829,600	10,502,599		
建設改良費	159,181,000	154,268,000	126,849,054	111,488,289	29,829,600	2,502,346		
企業債償還金	19,344,000	19,018,000	19,343,747	19,017,781	0	253		
予備費	8,000,000	8,000,000	0	0	0	8,000,000		

資本的収入は、前年度決算額50,364,310円に対し当年度決算額は5,352,020円で、45,012,290円の減額であり、仮受消費税及び地方消費税211,260円が含まれているので実質決算額は5,140,760円である。

資本的支出は、前年度決算額130,506,070円に対し当年度決算額は146,192,801円で、15,686,731円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税8,528,628円が含まれているので実質決算額は137,664,173円で、翌年度繰越額は29,829,600円である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額140,840,781円は、過年度分損益勘定留保資金97,021,652円、当年度分消費税資本的収支調整額8,317,368円、減債積立金19,300,000円及び当年度分損益勘定留保資金16,201,761円で補てんする。

## (4) 損益計算書比較表

(単位：円)

科目	年度	29年度	28年度	増減額
1 営業収益		681,371,791	637,238,245	44,133,546
(1) ガス売上		619,400,536	591,725,381	27,675,155
(2) 受注工事収益		61,375,897	43,450,166	17,925,731
(3) 器具販売収益		69,660	8,350	61,310
(4) その他営業雑収益		525,698	2,054,348	△ 1,528,650
2 営業費用		699,581,558	678,721,899	20,859,659
(1) ガス売上原価		307,681,418	300,916,224	6,765,194
(2) 供給販売費及び一般管理費		336,202,575	336,576,064	△ 373,489
(3) 受注工事費用		55,641,405	41,224,361	14,417,044
(4) 器具販売費用		56,160	5,250	50,910
営業利益		△ 18,209,767	△ 41,483,654	23,273,887
3 営業外収益		53,206,255	55,900,178	△ 2,693,923
(1) 有価証券利息(受取利息)		3,100,000	3,100,000	0
(2) 長期前受金戻入		49,023,977	50,681,560	△ 1,657,583
(3) 雑収益		1,082,278	2,118,618	△ 1,036,340
4 営業外費用		1,445,943	1,771,523	△ 325,580
(1) 企業債利息		1,440,647	1,766,613	△ 325,966
(2) 雑支出		5,296	4,910	386
経常利益		33,550,545	12,645,001	20,905,544
5 特別利益		0	0	0
(1) 過年度損益修正益		0	0	0
6 特別損失		0	0	0
(1) 過年度損益修正損		0	0	0
(2) その他特別損失		0	0	0
当年度純利益		33,550,545	12,645,001	20,905,544

営業収益681,371,791円の主なものは、ガス売上619,400,536円(90.90%)、受注工事収益61,375,897円(9.01%)である。

営業費用699,581,558円の主なものは、ガス売上原価307,681,418円(43.98%)、供給販売費及び一般管理費336,202,575円(48.06%)である。

営業外収益53,206,255円の主なものは、長期前受金戻入49,023,977円(92.14%)である。

営業外費用1,445,943円の主なものは、企業債利息1,440,647円(99.63%)である。

特別利益及び特別損失は、ともに0円である。

## (5) 貸借対照表比較表

(単位：円)

区分	資産の部		
	29年度	28年度	増減額
固定資産	1,695,269,624	1,707,815,961	△ 12,546,337
流動資産	473,302,130	485,086,645	△ 11,784,515
計	2,168,571,754	2,192,902,606	△ 24,330,852

区分	負債・資本の部		
	29年度	28年度	増減額
固定負債	111,802,767	109,597,144	2,205,623
流動負債	155,966,149	172,169,952	△ 16,203,803
繰延収益	634,697,164	678,580,381	△ 43,883,217
資本金	747,403,472	747,403,472	0
剰余金	518,702,202	485,151,657	33,550,545
計	2,168,571,754	2,192,902,606	△ 24,330,852

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は2,168,571,754円で、前年度と比較して24,330,852円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 78.17%

流動資産473,302,130円の内訳は、現金預金420,251,238円、売掛金22,653,473円、貸倒引当金△197,593円、未収金26,037,355円、貯蔵品2,711,100円、製品1,846,557円であり、前年度と比較して11,784,515円の減少である。

流動負債155,966,149円の内訳は、企業債15,794,377円、買掛金36,155,751円、未払金76,615,136円、前受金17,424,213円、引当金7,526,672円、その他流動負債2,450,000円であり前年度と比較して16,203,803円の減少である。

流動比率を見ると次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 303.46%

負債・資本合計2,168,571,754円に対する自己資本1,266,105,674円(資本金747,403,472円剰余金518,702,202円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 58.38%

剰余金518,702,202円の内訳は、資本剰余金43,463,541円(受贈財産評価額999,241円、工事負担金42,464,300円)、利益剰余金475,238,661円(減債積立金3,700,000円、利益積立金54,380,000円、建設改良積立金218,000,000円、災害準備積立金146,000,000円、当年度未処分利益剰余金53,158,661円)である。

## 《む す び》

ガス事業については、「安定供給」と「保安の確保」そして「経年導管対策事業」に注力し、経営の効率化を基本的な理念とした事業運営を進めており、昨年と比較して既設供給区域内の需要家は204戸増加し、販売実績も5.13%増加している。

その経営状況は、税抜きで総収益7億3,457万8千円（前年度6億9,313万8千円）、総費用7億102万7千円（前年度6億8,049万3千円）であり、差し引き3,355万1千円（前年度1,264万5千円）の純利益となっている。

今後も、平成29年4月に策定した将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画である「大網白里市ガス事業経営戦略」に基づいて、経営の効率化及び健全化に努められたい。

【病院事業会計】

1 経営状況について

(1) 経営成績について

当年度病院事業会計においては、総収益2,615,463,220円に対し、総費用2,594,051,423円で、純利益は21,411,797円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると、次表のとおりである。

(単位：円)

区分 \ 年度	27年度	28年度	29年度
総収益	2,327,897,367	2,365,025,444	2,615,463,220
総費用	2,329,038,604	2,388,669,033	2,594,051,423
純利益	△ 1,141,237	△ 23,643,589	21,411,797

2 審査状況について

(1) 概況

病院事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

区分 \ 年度	27年度	28年度	前年度比 (%)	29年度	前年度比 (%)
入院患者数 (人)	27,626	28,831	104.4	30,225	104.8
外来患者数 (人)	64,015	63,419	99.1	66,932	105.5
計	91,641	92,250	100.7	97,157	105.3

事業内容を見ると、患者数計は97,157人で前年度に対し4,907人増（入院患者数1,394人増、外来患者数3,513人増）となっている。

## (2) 収益的収入及び支出

## 収入

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
病院事業収益	2,611,403,000	2,375,369,000	2,622,360,531	2,371,052,456	10,957,531	△4,316,544		
医業収益	2,326,633,000	2,110,730,000	2,337,143,299	2,102,627,074	10,510,299	△8,102,926		
医業外収益	284,767,000	264,636,000	285,217,232	268,425,382	450,232	3,789,382		
特別収益	3,000	3,000	0	0	△3,000	△3,000		

## 支出

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
病院事業費用	2,600,176,000	2,414,789,000	2,596,738,902	2,387,969,889	3,437,098	26,819,111		
医業費用	2,562,381,000	2,369,387,000	2,559,365,164	2,347,823,455	3,015,836	21,563,545		
医業外費用	37,792,000	40,399,000	37,373,738	40,146,434	418,262	252,566		
特別損失	3,000	3,000	0	0	3,000	3,000		
予備費		5,000,000	0	0	0	5,000,000		

収益的収入の主なものは医業収益（入院収益、外来収益、市繰出金等）で、前年度決算額2,102,627,074円に対し当年度決算額2,337,143,299円で234,516,225円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税6,279,795円が含まれているので実質決算額は2,330,863,504円である。

医業外収益は、前年度決算額268,425,382円に対し当年度決算額285,217,232円で、16,791,850円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税617,516円が含まれているので、実質決算額は284,599,716円である。

収益的支出の主なものは医業費用で、前年度決算額2,347,823,455円に対し当年度決算額2,559,365,164円で、211,541,709円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税89,852,279円が含まれているので実質決算額は2,469,512,885円である。

医業外費用は、前年度決算額40,146,434円に対し当年度決算額37,373,738円で、2,772,696円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は37,373,738円である。

特別損失は、前年同様、当年度決算額は0円である。

(3) 資本的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
資本的収入	136,146,000	143,060,000	124,843,000	142,237,000	△ 11,303,000	△ 823,000		
出資金	75,243,000	71,237,000	75,243,000	71,237,000	0	0		
補助金	2,000	2,000	0		△ 2,000	△ 2,000		
繰入金	2,700,000	0	2,700,000		0	0		
寄付金	1,000	1,000	0		△ 1,000	△ 1,000		
企業債	58,200,000	71,820,000	46,900,000	71,000,000	△ 11,300,000	△ 820,000		

支出

(単位：円)

区分	年度		予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	29年度	28年度	29年度	28年度				
資本的支出	166,356,000	192,983,000	153,520,031	184,065,456	0	12,835,969		
建設改良費	59,668,000	94,720,000	56,832,732	90,803,116	0	2,835,268		
企業債償還金	96,688,000	93,263,000	96,687,299	93,262,340	0	701		
予備費	10,000,000	5,000,000	0	0	0	10,000,000		

資本的収入は、前年度決算額142,237,000円に対し当年度決算額は124,843,000円で、17,394,000円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は124,843,000円である。

資本的支出は、前年度決算額184,065,456円に対し当年度決算額は153,520,031円で、30,545,425円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税4,209,832円が含まれているので、実質決算額は149,310,199円である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額28,677,031円は、当年度分損益勘定留保資金28,677,031円をもって補填する。

## (4) 損益計算書比較表

(単位：円)

科目	年度		
	29年度	28年度	増減額
1 医業収益	2,330,863,504	2,097,271,882	233,591,622
(1) 入院収益	1,259,897,274	1,156,782,122	103,115,152
(2) 外来収益	884,326,344	768,807,072	115,519,272
(3) その他医業収益	186,639,886	171,682,688	14,957,198
2 医業費用	2,469,512,885	2,266,725,632	202,787,253
(1) 給与費	1,266,776,375	1,173,941,267	92,835,108
(2) 材料費	766,301,566	674,717,962	91,583,604
(3) 経費	357,030,112	332,199,127	24,830,985
(4) 減価償却費	71,894,974	69,851,963	2,043,011
(5) 資産減耗費	792,385	5,532,000	△ 4,739,615
(6) 研究研修費	1,917,473	2,083,313	△ 165,840
(7) 看護師養成費	4,800,000	8,400,000	△ 3,600,000
医業利益	△ 138,649,381	△ 169,453,750	30,804,369
3 医業外収益	284,599,716	267,753,562	16,846,154
(1) 受取利息及び配当金	0	0	0
(2) 補助金	142,942,000	128,112,500	14,829,500
(3) 一般会計負担金	106,780,000	108,744,000	△ 1,964,000
(4) 長期前受金戻入	24,925,685	20,126,577	4,799,108
(5) その他医業外収益	9,952,031	10,770,485	△ 818,454
4 医業外費用	124,538,538	121,943,401	2,595,137
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	33,704,838	37,116,034	△ 3,411,196
(2) その他医業外費用	90,833,700	84,827,367	6,006,333
経常利益	21,411,797	△ 23,643,589	45,055,386
5 特別損失	0	0	0
(1) 臨時損失	0	0	0
当年度純利益	21,411,797	△ 23,643,589	45,055,386

当年度の損益計算書は、総収益（医業収益＋医業外収益）2,615,463,220円、総費用（医業費用＋医業外費用）2,594,051,423円で、21,411,797円の純利益となっている。

総収益の内訳は、入院及び外来収益2,144,223,618円（構成比81.98%）、その他医業収益186,639,886円（7.14%）、医業外収益284,599,716円{補助金142,942,000円、一般会計負担金106,780,000円、長期前受金戻入24,925,685円、その他医業外収益9,952,031円}である。

総費用の内訳は、医業費用2,469,512,885円{給与費1,266,776,375円、材料費766,301,566円、経費357,030,112円、減価償却費71,894,974円、資産減耗費792,385円、研究研修費1,917,473円、看護師養成費4,800,000円}、医業外費用124,538,538円{支払利息及び企業債取扱諸費33,704,838円、その他医業外費用90,833,700円}である。

## (5) 貸借対照表比較表

(単位：円)

年度 区分	資 産 の 部		
	29年度	28年度	増減額
固定資産	1,341,862,990	1,361,927,449	△ 20,064,459
流動資産	418,847,600	460,013,726	△ 41,166,126
計	1,760,710,590	1,821,941,175	△ 61,230,585

年度 区分	負 債 ・ 資 本 の 部		
	29年度	28年度	増減額
固定負債	856,482,706	930,499,180	△ 74,016,474
流動負債	295,341,945	356,985,168	△ 61,643,223
繰延収益	341,254,439	324,757,124	16,497,315
資 本 金	2,371,107,831	2,334,587,831	36,520,000
剰 余 金	△ 2,103,476,331	△ 2,124,888,128	21,411,797
計	1,760,710,590	1,821,941,175	△ 61,230,585

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は1,760,710,590円で、前年度と比較して61,230,585円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 76.21%

流動資産418,847,600円の内訳は、現金預金40,982,726円、未収金357,464,547円、有価証券19,880円、貯蔵品20,380,447円で、前年度と比較して41,166,126円の減少である。

流動負債295,341,945円の内訳は、企業債120,916,474円、未払金119,906,471円、賞与等引当金54,019,000円、その他流動負債500,000円であり、前年度と比較して61,643,223円の減少である。

繰延収益341,254,439円の内訳は、長期前受金824,122,450円、長期前受金収益化累計額△482,868,011円であり、前年度と比較して16,497,315円の増加である。

流動比率を見ると、次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 141.82%

負債・資本合計1,760,710,590円に対する自己資本267,631,500円(資本金2,371,107,831円、剰余金△2,103,476,331円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 15.20%

剰余金△2,103,476,331円の内訳は、資本剰余金13,142,875円(国県補助金292,875円、寄付金12,850,000円)、利益剰余金△2,116,619,206円(減債積立金37,000,000円、当年度末処分利益剰余金△2,153,619,206円)である。

## 《む す び》

大網病院については、「心のこもった笑顔で、わかりやすく納得のいく医療」を基本理念として、患者に対し良質で安全な医療を提供するために医師、看護師等の確保・育成に努めている。

また、地域の中核病院としても、救急・がん治療などの急性期医療から生活習慣病などの慢性期医療、さらには緩和ケアなどの終末医療まで幅広い医療を展開している。

その経営状況は、総収益26億1,546万3千円（前年度23億6,502万5千円）、総費用25億9,405万1千円（前年度23億8,866万9千円）であり、差し引き2,141万2千円の純利益（前年度2,364万4千円の純損失）となっている。

患者数の動向としては、入院患者数は、1日平均82.8人で前年度に比べ4.8%増加しており、外来患者数は、1日平均273.2人で前年度に比べ5.5%増加している。また、入院収益及び外来収益はともに11.4%増加している。

大網病院では、平成29年3月に「大網病院新改革プラン(平成28年度～平成32年度)」を策定し、計画の実現に向けて平成28年度より胃がんリスク検診（A B C検診）を開始し、平成29年度は、各種医療機器や施設の整備を図るとともに、午後の一般外来を拡充するなど、医療体制の充実に努めている。引き続き、患者サービスの向上を目的に、地域医療の拠点として医療体制の充実に向け、効率的かつ持続的な病院運営がされることを望む。